

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 第2回就労支援部会				
(2) 開催日時	平成30年6月18日（月）15：00～17：00				
(3) 開催場所	本庁舎901会議室				
(4) 出席した委員、事務局等	委員				<敬称略>
	鶴田 雅英	中野 真弓	加藤 治	平井 有希子	都丸 利奈子
	谷口 学	山崎 訓子	根本 真理子	相澤 あゆみ	宇田尻 浩司
	星野 歩	高橋 由紀	酒井 弘美	富田 文子	
	事務局：小林 善紀、森崎 恵里、滝本 裕弥、西澤 佳佑				
欠席者：佐藤 正浩、齋藤 美那、富永 眞也、関 香穂利					
(5) 内容・要旨	<p>1 部会長挨拶 本日の検討課題においても色々な意見が出し合えればと考えている。</p> <p>2 連絡・報告事項</p> <p>(1) 各委員からの情報提供</p> <p>① おおたTSからの情報提供 6月（6月21日）の定例会のお知らせ 講演『東京ストリートカウントの活動について』を実施予定。 9月29日に拡大定例会『児童虐待から考える』の講演会を実施予定。</p> <p>② 平成30年度第1回職場体験実習実行委員会（5月30日）からの報告 7月25日に今年度の職場体験実習に向けた支援者向け説明会を行う予定。今年度の協力企業は13社事業所程度。参加者の募集は8月いっぱいを予定。9月に実習調整会議を行い実習に進んでいく予定。</p> <p>③ ひきこもりに関する講演会について 東京都主催のひきこもりに関する講演会および合同相談会が6月16日に都庁で実施された。当事者の保護者の方など500人近くが参加。秋にも開催予定との周知があった。</p> <p>④ おおたフォーラムについてのお知らせ 「大田区の障害福祉を共に考える おおたフォーラム」というイベントを7月7日に実施する予定。</p> <p>⑤ 都立水元小合学園（就業技術科）の企業向け見学会の報告 主に企業の人事担当者を対象とした見学会に参加した報告がある。当該校は、就職率100%を目標に掲げて設置され、今年度初めて卒業生を出した。入学についても受験方式で実施しているため、現在1.4倍の倍率となっている。 また、都内には他にも就業技術科を設置している特別支援学校がある他、就業技術課より定員の少ない職能開発科を設けている学校もある。</p> <p>⑥ NPO法人まひろより 多機能型就労支援事業所（就労継続支援B型と就労移行支援）とし</p>				

て「One-Self (ワン-セルフ)」を立ち上げたとの情報提供がある。

また、今年度から東京都が開始した精神障害者就労定着連携促進事業も受託した。まひろとしては連絡会議の運営を担当することになっている。

(2) 事務局からの連絡事項

① 就労移行支援事業所連絡会 (5月22日) の報告

今年度は6月26日に就労継続支援B型利用のための就労アセスメント説明会と就労移行支援事業所説明会を同日に開催することを企画している。その内容について検討した。

② 30年度就労支援情報説明会の報告 (5月23日)

ハローワーク大森、東京ジョブコーチ支援室、東京しごと財団、東京障害者職業センターより、それぞれの事業内容について説明を受けた。区内外の関係機関より53名の参加があった。

③ 就労促進担当者会議 (6月12日) の報告 (6/12)

今月の学習会では、ハローワーク大森、東京ジョブコーチ支援室、東京障害者職業センターの方より事業概要の説明を受けた。またオブザーバーとしてJFEビジネスサポート横浜(株)の方が参加し、雇用情報についての情報提供があった。

④ 就労移行支援事業所説明会・情報交換会の案内

6月26日に障がい者総合サポートセンターにて実施予定。

⑤ 相談支援部会個別支援会議の確認 (6/20)

6月20日に実施予定の相談支援部会の個別支援会議を、他の部会の委員にも呼びかけ合同部会として実施する。参加希望の委員は事務局まで申し込みを行う。

3 本日の検討事項

(1) 年間スケジュールの再確認

基本的には第3週月曜日15時～17時で開催する。7月については日程が他の専門部会と重複しているため、7月17日(火)の9時30分から11時30分に実施。9月は9月14日(金)に実施する。2月5日(火)には就労支援部会の公開セミナーを実施する予定。

(2) 合同部会について

- ① 5つの専門部会全体の合同部会を、9月4日か5日の午前中に実施予定。6月27日の運営会議にて日程を決定する。合同部会のテーマについても運営会議にて検討する予定。テーマの案として「地域共生型社会の実現に向けて」や「障害者差別解消法について」、「合理的配慮」などの意見が出ている。その他に、それぞれの委員の立場で検討してみたいテーマがあれば、事務局まで連絡する。

	<p>② 他の専門部会との合同開催について、例えばこども部会と合同で、特別支援学校以外の普通校高校や専門学校にいる、支援が必要だと思われる方たちを想定した、「制度の狭間にいる方への支援」などの切り口で事例検討や情報交換を行うことを検討している。</p> <p>また、学齢期では放課後等デイサービスを利用していたが、卒業後に日中系サービスを利用する場合、サービス終了後から夕方の時間の支援が切れてしまっているという現状がある。このような、切れ目のない支援が必要な人たちについても、こども部会と合同で検討ができるのではという意見が出た。具体的には運営会議や各部会の作業部会にて、内容の摺合せをしていく。</p> <p>(3) 公開セミナーの検討</p> <p>日程は2月5日(火)。会場は大田区民ホールアブリコ。今年度はどのようなテーマで実施するか、年間の検討課題と関連して検討していく。行いたいテーマや話を聞いてみたい講師がいれば、事務局に提案する。</p> <p>(4) 前おおた障がい施策推進プランについて</p> <p>前プランの就労支援分野における目標を再度確認し、部会活動と関連のあったものについて整理した。就労支援部会として、地域の課題(職場体験実習実行委員会など)に取り組んできた成果については評価されるべきである。就労支援部会として取り組んできている内容をもう少し具体的に評価していけると良い。</p> <p>就労支援ネットワークはだいぶ充実してきたと思われる。しかし、区内にも就労移行支援事業所が増えてきて、福祉施設から就労へ移行する就労率も就労移行支援事業所からの就労が大半になってきている。そういった意味では、これまで就労継続支援B型の事業所を中心に実施してきた就労促進担当者会議のネットワークについて、新たな体制を検討する段階にきているという意見が出た。</p> <p>(5) おおた障がい施策推進プランについて</p> <p>新プランの就労に関する項目の内容について、各自プランを読み込み、次回以降内容の確認を行う。今年度の就労支援部会の検討課題と関連する項目について検討していく。</p> <p>(6) 今年度の検討課題について</p> <p>「就労継続支援B型での働き方」というテーマについては、福祉的就労から見えてくる課題という視点で検討していく。当事者や家族の困り感、事業所側の困り感、区側の考え方等について、情報収集のうえ整理し、区立就労継続支援B型利用のための入所調整の仕組みについての課題等を検討。また、就労継続支援B型とアルバイトの併用など「多様な働き方」についても検討していく。</p>
--	--

4 次回日程

平成30年7月17日(火) 9時30分～11時30分

場所：蒲田地域庁舎 5階 小会議室

司会(都丸委員) 書記(富田委員) 予定